

(別添1)

令和元年9月12日

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、御注意ください。なお、関係者にも周知をお願いします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10331号	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	三井化学アグロ(株)
第10332号	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	ホクサン(株)

#### ■変更内容及び変更理由

##### 【変更内容（適用削除および今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「稲」、使用目的「登熟歩合向上」を削除する。
- ・作物名「稲(箱育苗)」、「稲(折衷苗代)」及び「稲(畑苗代)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「すいか」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。

##### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

###### 【変更前】

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシイソキサ ゾールを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (ファリウム菌) 苗立枯病 (ピシム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500~ 1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約5ℓ) 1箱当り 500ml	は種時及び 発芽後	2回 以内	土壌灌注	4回以内 (移植前の土 壌混和は1回 以内、移植前 の土壌灌注は 2回以内、 本田では1回 以内)
	ごま葉枯病	500倍		は種時	1回		
	苗立枯病 (ファリウム菌) 苗立枯病 (ピシム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約5ℓ) 1箱当たり 1ℓ	は種時及び 発芽後	2回 以内		
	ごま葉枯病			は種時	1回		
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (ファリウム菌) 苗立枯病 (ピシム菌)	500倍	1ℓ/m <sup>2</sup>	は種直後 及び発芽後	2回 以内		

【変更前】 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	トビシツキガ ールを含む農薬 の総使用回数
稲 (畑苗代)	苗立枯病 (ガリウム菌) 苗立枯病 (ピシム菌)	1000 倍	3 ℓ/m <sup>2</sup>	は種直後 及び発芽後	2 回 以内	土壌灌注	4 回以内 (移植前の土 壌混和は 1 回 以内、移植前 の土壌灌注は 2 回以内、 本田では 1 回 以内)
	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進			は種直後			
稲	登熟歩合向上	500 倍	150 ℓ/10a	出穂直前～ 出穂期	1 回	散布	4 回以内 (種もみへの 処理は 1 回以 内、移植前の 土壌混和は 1 回以内、移植 前の土壌灌注 は 2 回以内、 本田では 1 回 以内)
		原液	0.3 ℓ/10a			空中散布	
		3 倍	0.8 ℓ/10a			無人ヘリコプターに よる散布	
すいか	苗立枯病	500～ 1000 倍	3 ℓ/m <sup>2</sup>	は種直後	2 回 以内	苗床灌注	2 回以内 (育苗土壌へ の混和は 1 回 以内、苗床へ の灌注は 1 回 以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	トビシツキガ ールを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (ガリウム菌) 苗立枯病 (ピシム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500～ 1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約 5 ℓ /10a) 1 箱 当たり 500/ml	は種時及び 発芽後	2 回 以内	土壌灌注	3 回以内 (移植前の土 壌混和は 1 回 以内、移植前 の土壌灌注は 2 回以内)
	ごま葉枯病	500 倍		は種時	1 回		
	苗立枯病 (ガリウム菌) 苗立枯病 (ピシム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約 5 ℓ) 1 箱当たり 1 ℓ	は種時及び 発芽後	2 回 以内		
	ごま葉枯病			は種時	1 回		

【 変更後 】 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ピロシイサガ -ルを含む農薬 の総使用回数
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (ファリウム菌)	500 倍	1 ℓ/m <sup>2</sup>	は種直後 及び発芽後	2 回 以内	土壌灌注	3 回以内 (移植前の土 壌混和は 1 回 以内、移植前 の土壌灌注は 2 回以内)
稲 (畑苗代)	苗立枯病 (ピシム菌)	1000 倍	3 ℓ/m <sup>2</sup>				
すいか	苗立枯病			500~ 1000 倍	は種直後	1 回	苗床灌注

【 申請者による変更理由 】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。